



草間 典夫 議員

質問 熱中症対策として
幼小中学校へ製氷機の導入を！
答弁 安全で衛生的な設置場所など、
学校と相談し検討していく

草間議員の
質問動画



議員

市内小中学校(幼稚園等含む)における近年の熱中症発生状況について伺う。

教育部長

令和元年度の発生件数は、小学校1年生30、2年生71、3年生82、4年生45、5年生77、6年生58で合計363件。中学校は、1年生32、2年生19、3年生42で合計93件。令和2年度は、小学校1年生59、2年生97、3年生57、4年生76、5年生66、6年生71で合計426件。中学校は、1年生40、2年生37、3年生27で合計104件。なお、幼稚園は、令和元年度、2年度ともに熱中症の症状が見られた児童はいなかった。

議員

毎年これだけの子どもたちが熱中症に脅かされているという状況であるが、学校や幼稚園等ではどのような熱中症の予防と対策を行っているのか。

教育部長

コロナ対策と熱中症対策の両立として、エアコンの積極的活用や水分補給を定期的に指示している。

議員

また、体育館や武道場に大型扇風機やミストシャワーを設置した。さらに、WBGT(暑さ指数)を毎日測定して、各校に活動の注意喚起や運動制限を行っている。

議員

児童生徒の保健衛生、健康安全等を考慮した熱中症対策として、幼小中学校に製氷機を設置することについて市の考えは。

学校教育課長

すでに設置している学校では、常時氷があるので、急な発熱やけがの応急手当時のアイシング、理科の実験、部活動等で幅広く有効活用されている。

教育部長

幼小中学校における氷の使用目的や用途などを考慮し、安全で衛生的な設置場所を検討していく。

議員

熱中症対策及び子どもたちの健康面への安心の投資として、残り未設置校(園)への製氷機の導入・設置を確実にお願いしたい。

【その他の質問】

★市道(コンクリート道路)の整備、補修について



佐藤 剛史 議員

質問 小中学校における
トイレの洋式化について
答弁 学校と十分な協議、調整をし、
洋式化率の向上に取り組みたい

佐藤議員の
質問動画



議員

各家庭のトイレも洋式化が進んでおり、子どもたちの生活スタイルも変化をきてきている。小学校の新入生に関しては、幼稚園や保育園から大きく環境も変わり、新たな学校生活になじんでいく過程において、家庭で使用している洋式トイレと違う学校の和式トイレの使い方が分からなく、無理に我慢をしてみましたり、洋式便器の数の少ない学校では洋式トイレに並んでしまう状況により、お漏らしをしてしまうようなこともあったと聞き及んでいる。ただでさえ新しい環境で不安な状況において、これらのトイレの問題によるいじめ等によって学校へ行きたくないという気持ちから、最悪の場合不登校等に発展してしまうおそれも考えられる。予算の都合上すぐに考えられる。工事とはいかないかもしれないが、子どもたちの成長に関しては待たなしという現実があるなかで、本当に必要なとされている部分においては補助金等も活用し今後のトイレの洋式化を進めて頂きたいが、

当市の考えは。

学校教育課長

国庫補助金を活用してトイレの大規模改修を先行して行った場合、その後の長寿命化の工事あるいは大規模の改築工事に制約が出る可能性があるが、慎重に進める必要があるが、大きな改修を実施する場合には積極的に補助金の活用をしていきたいと考えている。

教育部長

和式便器を洋式便器に入れ替える場合、附带工事などは別として1か所約50万円程度かかる。本市の学校で現在の洋式トイレの設置状況を考えると、全ての便器を洋式化した場合、最低で約1億4千万円程度の費用が必要となる。本市の全19校のトイレの洋式化については、各校のバランスと財政状況の平準化等を考慮した中で、学校側と十分な協議、調整をしながら、洋式化率の向上に取り組んでまいりたい。

議員

今後の学校適正配置計画も大きな要因になってくるが、本当に必要なとされる環境の改修については、迅速な対応をお願いしたい。